

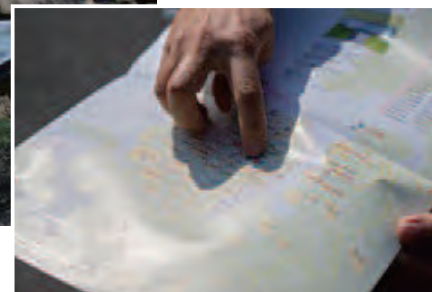
お話を聞いた人

佐賀県立名護屋城博物館
学芸員・堤英明さん



当時の名護屋城エリアにタイムスリップできたら、城下町に繰り出し一日中観光してみたい。当時 20 万人もの人々が全国から集まったとされる街の熱気を感じてみたいです。

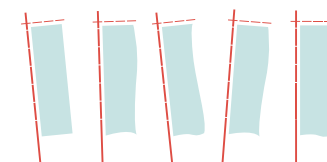
「はじまりの名護屋城」ミニ刊行物zine@（じんあつと）、第4号は学芸員の堤さんに、前田利家陣跡を案内してもらった。堤さんはどうしてこの陣跡の紹介を？



きのしたのぶとし

本当は名護屋城博物館のすぐ裏にある木下延俊陣跡も紹介したかったのですが、現在ちょうど再整備に向けて公開を一時停止しているので、同じく博物館の近くにあり、メジャーな大名である前田利家の陣跡を紹介させていただきます。木下延俊は秀吉の甥っ子にあたる大名で、同じく信頼の厚かった前田利家とともに秀吉がいる名護屋

城の大手口の守りを固めているような形になります。逆に後から豊臣家臣となった北条氏や島津氏などが少し離れたところに陣を構えているのとは対照的です。この前田陣跡は立派な大手口のある陣跡ですので、その辺りもご紹介したいと思います。



石垣や、 強者どもが、 見栄のあと

こちらの石垣も整備の際に積み直しなどを行っています。石は当時のものですが、前田利家の居城であった金沢城にも同じように立派な野面積みの石垣が残されていて、その対比などもされています。石垣を積むにあたって諸大名は国許から石垣職人を連れてきたのではないかと考えられ、各陣が名護屋城に正面を向けて配置されていることから、この石垣が防衛のためだけというよりあ

る程度見栄を張った部分もあったのではないかと思います。特に、他の陣跡にも見られるのですが“鏡石”^{かがみいし}と呼ばれる大きな石を積んでいる部分がこの前田陣跡にもあります。でもその石は板のように薄く積みにくい上に石垣としては安定しにくい。つまり、自分たちはこんなに大きな石を積むことができるんだぞ、という大名たちの誇示の部分も多く、またそれが各地の石垣職人たちの腕の見せ所だったのかもしれません。

前田利家は秀吉の盟友といわれる有力な人物で、この陣跡の発掘調査の結果、大きな L 字型の建物の跡などが見つかっています。は史跡の保護しているため、直きません。見ら^{はたざおいし}旗竿石という穴があります。文るための石とい調査の結果、旗は、小さな建物見つかり、想定されている^{ちようず}手水のための石たのではないかとす。要するに手ちなみに旗竿石辺で 60 例ほど陣跡以外にも、名護屋城跡だけです。たく残されていること湯をたしなんで

旗を立てた石？いえ、
きつとお庭の手水石です！
^{ちようずいし}

ます。ただ、今のため埋め戻し接見ることができるものとしてが開いている石字通り旗を立てう意味ですが、竿石の近くからのあとが各地でそれが茶室跡なので、旗竿石として使われてい考えられていま洗い場ですね。は名護屋城周あり、この前田堀秀治陣跡や手口でご覧いたさんの手水石がから、当時の武将たちがみな茶のいたことが分かります。

秀吉も歩いた、利家のもてなしの地行く

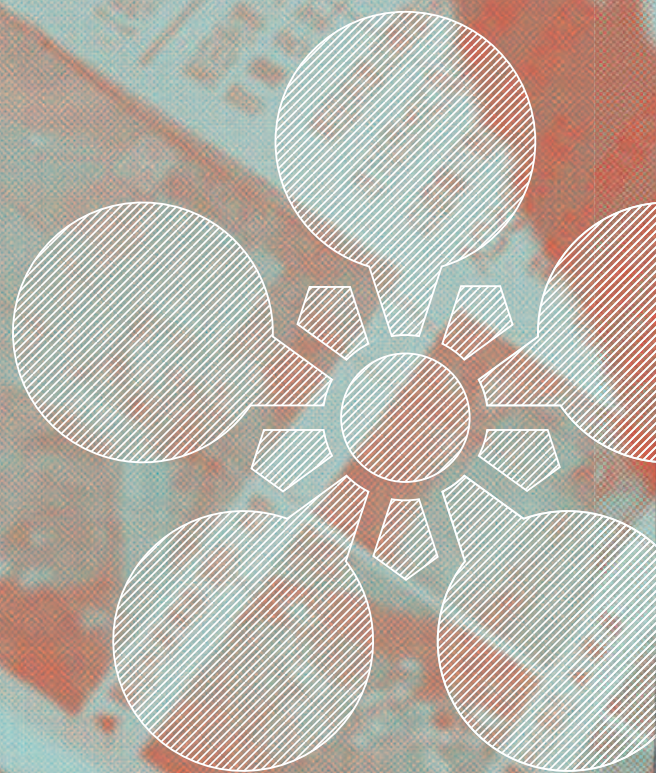
かみやそうたん

博多の豪商・神屋宗湛の茶会記には、利家が陣の中に深い山里の景色を作って秀吉を迎えたと書かれています。利家はきっと、当時の国家の最高権力者である秀吉をもてなすために、食事やお茶の振る舞いをどうしようとか、調度品をどうしようとか、現代の私たちと同じように、あれこれ思いを巡らしながら準備をしたことでしょう。また、陣跡の発掘調査では、御殿や蔵、庭園と想定される遺構も発見されています。この広大な陣跡に当時の建物はありませんが、そこには利家の心遣いが確かに残されています。名護屋エリアには150を超える陣跡が見つっていますが、この陣跡と同じように、それぞれにストーリーがあると思います。佐賀県では、発掘した遺構を保護しながら、継続的に整備を続けていますので、陣跡それぞれの特徴を生かしながら、当時の人々の思いや暮らしぶりも皆さんに伝えられたらいいなと思います。

地行く



zine @ Maeda Toshiie





"Zine@" is a magazine that brings you to the Warring States Period.
Thinking of the Warlords and make your own Original Zine!

戦国時代の「おわり」を知る。
秀吉は、故郷・尾張の国士を多く輩出した地で、
全国の豪族たちを集め、まちを築いた。
人口十万人を超える世界最大級の規模を
誇り、七年間のみ存在した、幻の都市。
しかし、それは確かにこの地に実在し、
様々な人々が集まり、様々な交流が生まれ、
様々な「はじまり」が起きた。
四百年以上も今に続く歴史がここに
能や茶道などの文化の発祥があり。
あなたがこの地で城郭・陣跡に立ち、
先人たちの思ひがいに思いを馳せる時、
あなたの新たなまちや世界の旅が、いよいよはじまる。
「はじまり」の城下町、
名護屋城へようこそ。

はじまりの 名護屋城。

The Beginning of New Cultural Tourism from SAGA!



名古屋陣之図（佐賀県立名護屋城博物館蔵）



肥前名護屋城図屏風（佐賀県立名護屋城博物館蔵）



The Beginning of New Cultural Tourism from SAGA!